

{ 昭和34年7月20日 } (毎月10日発行)
第3種郵便物認可

広報

かわにし

昭和51年 9/10 No.217

発行 川西町・町長 根津正三 編集 企画室広報係 定価 1部5円 印刷 白南風社

人口の動き

9月1日現在

男 5,155(+5)

女 5,233(+3)

計 10,388(+8)

世帯数 2,359(+1)

()内は前月比較



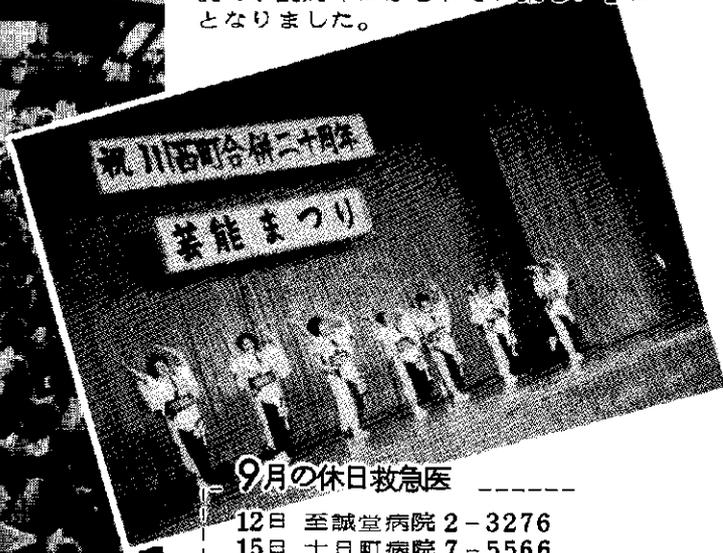
二十年のあゆみ
農作業に見る



盛大に 町の「はたち」を祝う

去る1日は、川西町はたちの誕生日
内外から大勢の方々をお招きし、盛大
にお祝いをしました。

とくに、昼夜2回の芸能祭りは大盛
況で、20周年にふさわしい楽しい1日
となりました。



9月の休日救急医

- 12日 至誠堂病院 2-3276
- 15日 十日町病院 7-5566
- 19日 池田医院 2-2581
- 23日 山口医院 2-2174
- 26日 富田医院 2-3269

藤巻・児玉氏を名誉町民に 特別功勞者も決める 8/12

議会報告

面伯)のお二人が、また、特別功勞者としては、下平新田の沢口由藏さんほか十九名の方々が決められたものです。

かいせつ

名誉町民……学術、技芸、その他社会文化の進展に貢献しその業績卓絶で町民の敬仰を受ける人を、議会にはかつて名誉町民とする。
特別功勞表彰……政治、経済、教育文化、社会福祉など全般

先月十二日に開かれた臨時議会は、二十周年記念式典に焦点をあわせ、名誉町民の推したいや、特別功勞者の表彰などを中心に審議しました。
すでに一日の式典を経て、皆さんもご存知のとおりですが、名誉町民としては、藤巻力雄氏(上野・医師)、児玉輝彦氏(船橋市・)

五十二年の歌会始 お題は「海」

五十二年歌会始のお題は、「海」と定められました。
歌進歌の歌進要領は「自作の歌一首、未発表のもの二用紙は、半紙とし、毛筆で自書のこと、(病人等は、理由を添えれば代書可)」
三書式は、半紙を二つ折りにし、右半面にお題と歌、左半面に住所、氏名(ふりがなつき)、生年月日、職業を書くこと。
四、歌進の期間 今月一日から十月十二日まで
五、送り先 〒100 東京都千代

にわたり町振興に寄与し、町民の手本とされる行為のあった人。
例えば、町長職十二年以上特別職、議会議員など通算二十年以上の人で、功勞顕著な者について議会の同意を得て表彰。

功勞表彰……前項と同様で、特別職、議会議員など通算十

田区千代田一番一号、宮内庁とし、「詠進歌」と書き添える。
六その他 疑問点は、直接宮内庁式部職あてに、住所、氏名・返信用切手をはった封筒をそえ、今月末日までに照会を。

住宅払下げ公告

次により、町有住宅の払下げを行いますので、希望者は今月二十日までに企画室へ申込みください。
一、場所 中島町
二、構造 木造二階建て、一棟
三、規模 八六七七平方メートル
四、払下げ時期 今月二十四日ころの予定
五、払下げ方法 競売または選考払下げ。
競売または選考払下げ。

内部障害者の入所生を募集

次により、内部障害者の入所生を募集しています。
*目的 内部障害者の健康管理を行いながら、技能を身につけること。
*募集期間 今年一月一日から十月十二日まで
*送り先 〒100 東京都千代

二年以上の人、町職員などで通算二十年以上在職し、職務に精勵、功勞顕著な人を表彰する。
善行表彰……前項と同様。多量町の公益に関する事業に尽力、業績顕著で他の模範となるべき人、公益のため多額の金品を寄付された人、非常災害に際し、とくに功績が顕著であった人などを表彰。

社会復帰を促進します
*入所対象、呼吸器ならびに心臓腎臓機能障害者です
*入所資格、満十五歳以上の人で医師が訓練指導を行っても差つかえないと認められた者(精神的障害のない人)
*入所費用、生活保護世帯及び低所得者は無料、この人たちには日用品費、訓練手当を支給、高額の所得者は食費のみ負担
*健康管理、嘱託医の診察が受けられ、薬を続けながら入所できます。定期検査は毎月、異状のあるときは夜間でも往診可能
*訓練科目、電気科、洋裁編物科印刷科、経理簿記科
*入所時期、四月、十月の二回です。
詳しくは、役場社会課へ。

国民年金が大幅に改正されました

国民年金は、年々その内容が改善されていますが、ことしも先の国会で法改正があり、一段と充実しました。
主な改善内容は、別表のとおりです。
この改正により、増額された年金が、受給者のお手元に届くのは、拠出年金がことしの十二月(老齢年金は十一月)、福祉年金は、来年一月の支払月となります。
なお、年金が増額すれば当然費用もかさみます。
そこで、今回の改正では、国からの負担分を増やすかわら

加入者の皆さんにも、応分の負担をお願いすることになりました。
この結果、現行千四百円の保険料は、五十二年四月からは二千二百円に、五十三年四月からは二千五百円(五十二年度において、年金に物価スライドが行われたときは、この保険料にもスライドが行われます。)そして以後も段階的に保険料を引きあげていくこととなります。
制度をより充実するために行われる保険料引き上げについて皆さんのご理解と、ご協力をお願いいたします。

区分	おもな改善事項	
拠出年金	1. 年金額の引上げ (51.9 実施) ア 保険料納付期間1か月につき800円で計算されているものを1,300円に、また昭和5.4.1以前生れの者に加算される優遇分、1ヵ月300円を500円にする。(月額) 25年年金 28,300円 → 32,500円 10年年金 17,688円 → 20,500円 5年年金 13,000円 → 15,000円 イ 障害年金 (最低保障額) 1級 35,375円 → 41,250円 2級 28,300円 → 33,000円 ウ 母子、準母子、遺児の各年金 28,300円 → 33,000円 エ その他 母子年金の加算額や死亡一時金の引上げ	
	2. 保険料の引上げ (52.4 実施) 定額保険料 1,400円 → 2,200円	
	3. その他 障害・遺児年金の通算制度の創設、障害年金の廃疾認定日の短縮、国庫負担時期の変更	
	福祉年金	1. 年金額の引上げ (51.10 実施) ア 老齢福祉年金 12,000円 → 13,500円 イ 障害福祉年金 1級 18,000円 → 20,300円 2級 12,000円 → 13,500円 ウ 母子・準母子福祉年金 15,600円 → 17,600円

はたち の川西町 特集

発展への基盤が

できあがりしました

町長 根津正三



はされなかつたでありましょう。二十年のたゆみない蓄積が、今ここに、豊かさや便利さ、うるおいのある生活を現実のものとしたのです。

う、つらく悲しい現象の著るしかつたことも、ゆるがせにできない歴史の一コマとなつてしまひました。行政の限界を知る、といつてはいささか悲観論にもなりませんが、奮闘をのがれ、より以上の生活を求めて去つた多くの人々を忘れることができません。

人口の動揺もようやく静まった今、町のはたちは、飛躍する明日を約束してくれているときでもあります。

過去の苦難と、喜びの成果を礎石としながら、希望に満ちた町づくりに専念したいと存じます。

発展への基盤は、すでに十分備えられているのですから、各位の一層のご協力をお願いいたします。

一町三か村民の期待と、いちまつ不安につつまれながらも、わたしたちの町が川西町が誕生をみたのは、今を去る二十年前のことでした。

以来、全町民の総力を集め、新町建設へのひたむきな努力と、高度経済成長に恵まれた歳月は、様々な歴史と、多くの成果を残して今日に至りました。

川西町が、ここに立派に成人に達したのである。

生活水準の大きな変革、産業、教育、福祉とあらゆるものが予測できないほどに姿を一変した年月、川西郷合併に苦悩の日々を費やされた多くの方々も、よもや、合併二十年後の町を、ここまで想像

受彰者の方々

物語者

- △中村壮吉・町長・農会長、△丸山寛治・選管委員長・橋村長、△富井正治・町議・消防団長、△押木利成・町助役・収入役、△小林与作・町副議長・仙田村議、△桐生周平・町議、△野沢秀保・農委橋村長、△小林誠治・教委・仙田村助役、△高橋善治・町議、△教藤長誠・固定評価審査委員長・千手町収入役、△田中金造・町議・仙田村議、△押木伸治・仙田支所長・仙田村長、△丸山伸泰・町副議長、△上野村議、△田口悌治・農委・橋村助役、△南雲後平・選管委員長

特別功勞者

- 沢口由蔵・町議・選管委員・上野村議、○馬場下禰・町議長・農委・教委、○江口初太郎・町議・固定評価審査委員長・仙田村議、○杉本春三郎・教育長・小中学校長、○丸山宗太郎・町議・教委長・農委

名誉町民 プロフィール



児玉輝彦氏
画伯・船橋市 (78歳)



藤巻力雄氏
医師・上野 (82歳)

※大正七年金沢医専卒、長岡病院外科勤務、大正九年上野に開業。

以来五十余年にわたり、地域保健衛生の向上に尽力されている。

現在は、消防医、上野・仙田小学校医、伝染病予防医、予防接種担当医などにたずさわられているほか、中魚沼郡医師会長、県国保連の要職も歴任された。

※十日町市稲葉出身、大正六年津端道彦師につき、土佐派の画道に入る。昭和二年、第八回の帝展に入選以来、日本美術協会に入選を重ね、昭和十二年無鑑査、第一部委員、審査員となられる。

昭和四十一年より五か年間、千手観音堂の壁画、格天井など力作を完成納納。

昭和五十一年十一月、心血を注がれた個展出品作品六曲屏風八双、十六本を町に寄贈されている。

町政功勞者

- 橋村議 (生年順)
- ・教養課長、▽市川富二・町議、▽清水儀七・農協長、農委、上野村議、▽教藤信善・固定評価審査委員、社会課長、▽平沢徳松・国保衛生課長、社会課長、▽桐生昌平・町議、仙田村議、▽川崎清栄・町議、農委、固定評価審査委員、仙田村議、▽丸山茂吉・町議、農委、橋村議、▽田村才一郎・町議、仙田村議、▽太田長栄、明るい選挙推進会長、安協会長、保護司、▽沢口富士雄・農委事務局局長、▽大澤晶子・民生委、連合婦人会長、▽小島謙作・町議、農委、上野村議、▽高橋重英・固定評価審査委員、農委事務局局長、商工観光課長、▽佐藤克平、産業課長、農委事務局局長、▽上村辰栄、保険課長、▽水落達一、町議、農委、▽登坂敬恒、町議、消防副団長、▽和田光興、町議、橋村議 (生年順)

追憶をたどりつつ... 20年のあしあと

*追憶をたどりながら、過ぎ去った日々を思い出しつつ、みました。先に発行の記念誌の年表とあわせてごらんください。

合併のころ

懐かしいあのころ、苦しかったあのとき……二十年の思い出は、人それぞれのことでしょう。町でも、それはいろいろのことでありました。そして、これらのできごとは、今日の町に至る貴重な過程でもあったのです。二十年を経た川西町は、しかし

これからも多くの課題をかかえています。さらに、苦難の道が想像されますが、こんなとき、過去をふりかえり、反省を加えることも、決して無意味ではありません。伸びゆく明日の川西町を夢見ながら……。

町村合併促進法が生まれたのは昭和二十八年九月のこと、その後三年間、当川西郷は、多くの曲折をみながら、三十一年九月に、一町三か村がまとまったの川西町誕生となった。
#町民の納得のいく合併を#と促進協議会や、部落説明会などは限りなく開催されたといわれており、昼夜を分かたぬ話し合いは、今なお記憶に及ぶ人たちも多いことであろう。

合併事務は、ほとんど当時の千手町公民館で進められた。六九銀行を前身とするこの公民館は、合併後も町の公民館として利用されていたが、現在は、千手郵便局舎にと姿が変わり、今昔を語る一つでもある。新町の体制整備、新町建設五か年計画などが、この公民館をねじろに、連日繰られたのである。

31年

三十一年九月一日、千手中学校で開町式を行い、新町の進展に寄与することを誓いあった。



合併のころ：仙田峠をトンネルにするのが夢でした。

29年ころから葉たばこ栽培が………合併当時の出荷作業です。

35年

三年続きの天災豪雨は総額八千五百万円のおつめ跡を残した。

とくに被害の大きかったのは橋地区、木落は水びたしとなった。

九月には、町長中村壮吉が無投票で再選、同時に二名の町議補選も執行、翌月助役に押木利成が就任している。

ご存知、ダツコチャンがブームとなったころでもある。

秋の困勢調査では、そろっと若い人離農者の転出が目だちはじめています。

36年

新春早々収入役に根津正三が就任、四月には、役場機構を総務、教養、産業、財政の四課とした。

千手、上野両中学が統合し、川西中学としてスタート、同校舎の建築に着手している。

所得倍増のかけ声はなやかなりしころ、一方、農業基本法の制定は、そろっと農業の不安、あせりを生みはじめた。

八月には、大選挙区制の町議選一名超過で激戦を展開。

この年、第二室戸台風の襲来で家屋倒壊など、激甚な被害を残している。

37年

県をはじめ、各地で交通安全の宣言、町でも七月十日を期して安全町を宣言した。にもかかわらず事故件数は、その後も増加をきわめ、ひにくなもので

合併後の庁舎に庁舎に。



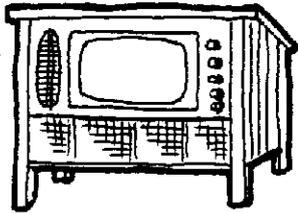
風で家屋の倒壊

35：初めてブルドーザーを入れる。

35：第1回の町民運動会を開いた。

花祭り、その昔……

テレビの台数



35年 = 6世帯に1台
51年 = 1世帯に1.1台

町の基礎づくりとして銘記すべき年である。
すなわち、第一回の議員選挙(小選挙区制)、農業委員選挙、合併協定事項である庁舎の建設、税国保料などの一体化に奔走したときである。
教育長羽鳥昌平のあとをうけて高橋子平が二代教育長に。
有史以来の高景気で、神武以来といつことが流行、秋には五千円札が発行された。

32年

町長職務執行者に押木利成があたり、以下職員は八十二名。
翌月、中村壮吉が初代町長に就任、議会(六十九名)構成も定まり、当初予算(三千七百三十万)や条例などを決めて、いよいよ新町の体裁が整えられている。
十一月には、開町祝賀会を開催。全町あげて喜びあつたものである。
当時、役場には、仙田から持ちこまれた乗用車が一台あり、大工の日当食付きで五百円から六百元といつたところであった。

34年

米増産の声だけなわのころ、町内で初めての大規模開田が、山王原で行われ、開田ブームの走りとなる。
四月、教育長に杉本春三郎が就任。
皇太子殿下ご成婚もあって、テレビが町内にもボンボン、親せきや知人宅で、物めずらしく、またうらやましい気持ちで視聴したのも今は懐かしい記憶である。
このころ、橋中に自動車の寄贈があり、免許取得、自動車への夢をわかせた。
耕うん機の姿もあらはら見られ、畜力利用の人々から、せん望の目で見られたところである。

33年

四年続きの豊作、神武以来の大豊作、と喜んでいたのもつかの間九月に台風二十一、二号の来襲で稲作に大きな損害が出た。
ことに九月十二日夜来の豪雨では根深で犠牲者も出ている。
同じく九月には、教育長の高橋子平が急せられた。
東京タワーが完成し、話題になったころ、町では、郡市内に先がけて公立常設保育所が、長者ヶ原に完成した。



34: 大倉で6戸が焼失

33: 人の手や背中が活躍 沖立堤防で。

今もやります ほんやら洞。

31: 千手町役場 その後す

38年

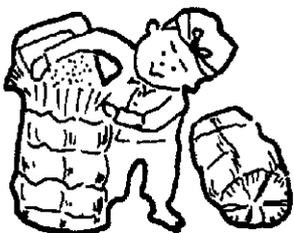
同じ災害でも、こちらは火災予防、消防トレーニング五百を町に寄贈してくれたのは、ときの消防団長丸山准二氏、小道でも、悪路でも自由に、しかもスピーディーな消火作業ができると、自ら考案してくれた人でもある。

(俗にいう三・八豪雪のとき、正月のトソ気分だけなわのころ、伊勢平治の観音堂が火災、雪中の消火作業の思うにまかせなかつた記憶は今も新しいし
四月には、助役に田口一男が就任
一億四千八百余万円の予算
中、川西中が三千六百万円で契約されている。このころ農業賞金は男食付き八百円、女五百円、農耕牛千円、大工千三百円といったところ。
錦鯉飼育がさかんにある。

児童・生徒数の比較

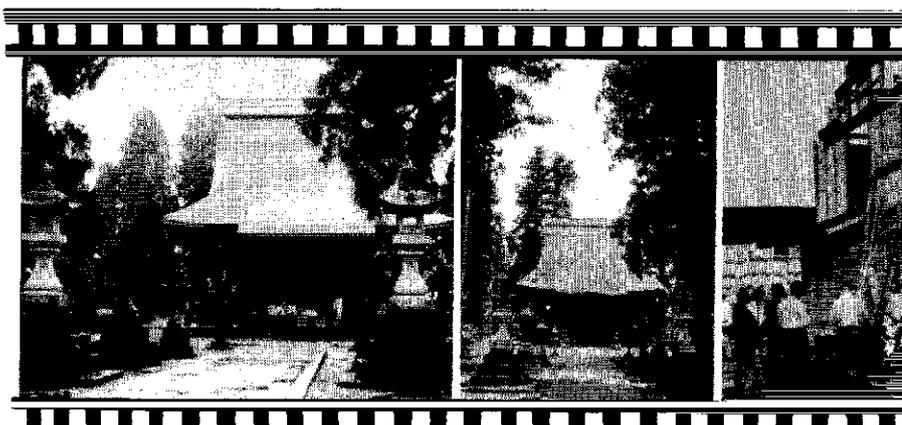
(小・中学校)

昭和32年		昭和51年	
学校数	児童・生徒数	学校数	児童・生徒数
本校 13校	3,497人	本校 7校	1,409人
分校 15校		分校 4校	



農家数

35年 = 2,142 戸
50年 = 1,642 戸



今の観音堂は41年に完成したものの。

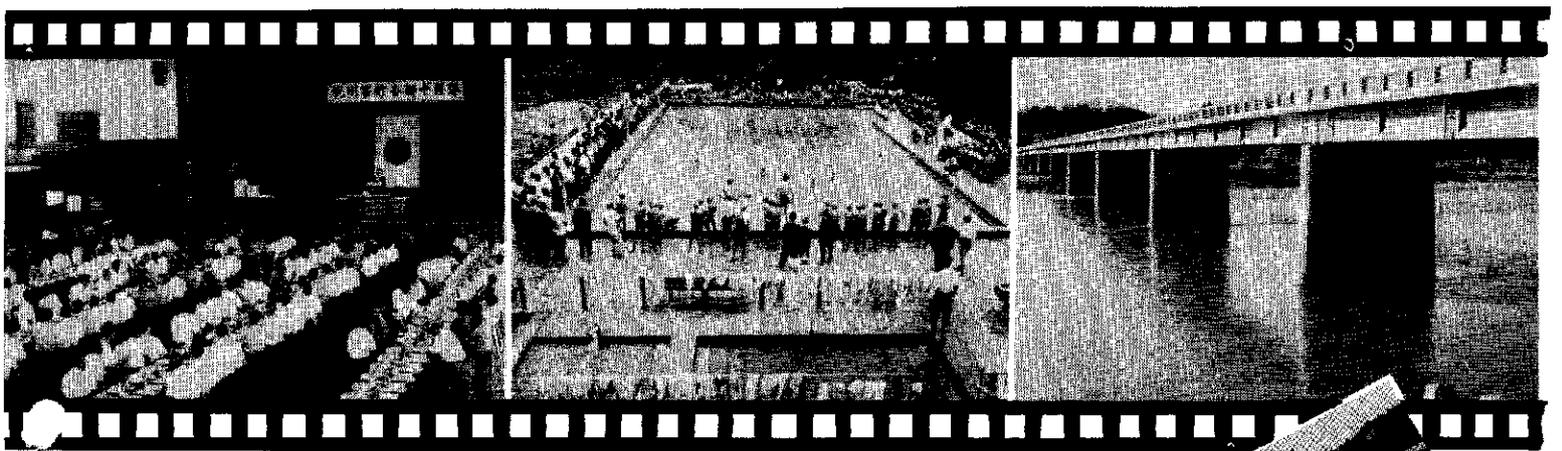
焼失前の千手観世音

36: 第2室 48戸

41: 合併10周年を盛大に……

40: 千手小に町内初のプール完成

39: 栄橋がしゅん工



葉たばこの耕作状況

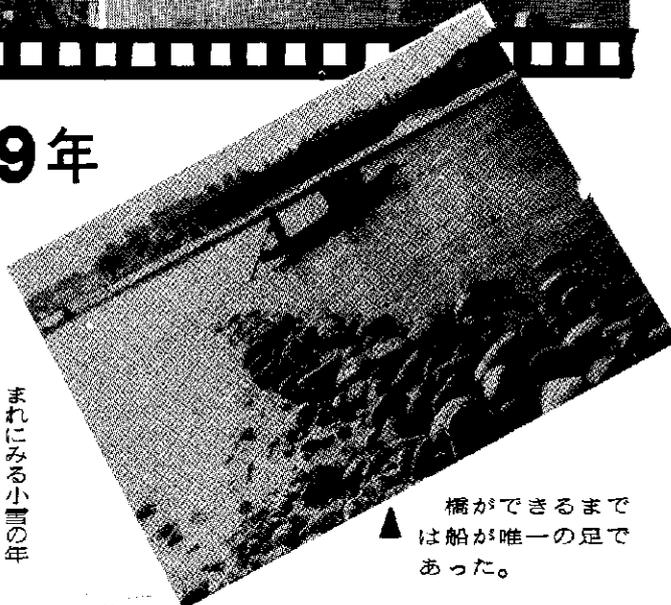
31: 435人: 50,2 ha
51: 93人: 53,0 ha

町民税の課税が、
#ただし書き方式#
から#本文方式#に
なり負担軽減となる。
県民スポーツの日
が設定され、全県下
でスポーツ大会が、
千手小に町内初のプールが完成、
節黒城跡に結ぶ観光道路に着手し
たのもこの年。八月には、町議会議
員の選挙を執行、一名の超過で激戦
となる。国勢調査により、過去五年
間で千七百六十一人が減少した。

40年

39年

忘れもしない東京オリンピック、
新潟国体、新潟地蔵の年である。
農業構造改善事業への駆動的役割の仁田集団
親睦組合が誕生、中央では、夢の超特急ひかり号
が開通。町内では、上野の中央通りに三十基の街
路灯が点灯、念願の栄橋が完成して喜びの渡橋式
を行っている。
九月には、町長の中村杜吉が三期目に。



橋ができるまでは船が唯一の足であった。

衆議院議員選挙を、雪中の一月
二十九日に執行。
桐山部落を松代町に分町したこ
とにより、町の人口はますます減
少の途へ。
当町の議長、南雲章が県町村議
会議長会長に就任した。
九月八日午前一時過ぎ、現職町
長中村杜吉が病のため死去、#巨

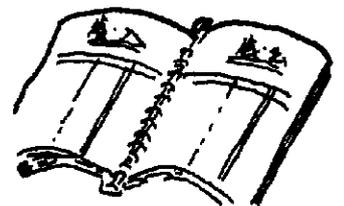
42年

献血車ゆうあい号が、はじめて
この町に。このときの献血者は七
十三名となっている。
水道の必要性がさげばれ、千手
地区に深井戸の掘削をはじめたほ
か、安心してお座できる施設、母
子健康センターが動き出した。
このころ入所料は、七日間で九
千六百円也。
九月一日には、十周年記念式典
を川西中で行っている。

41年

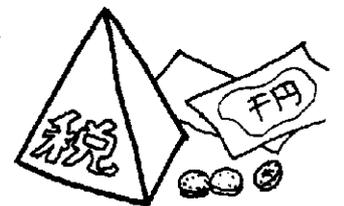
町の予算

(一般会計)



31年=1世帯当り 14,264円
51年= " 663,477円

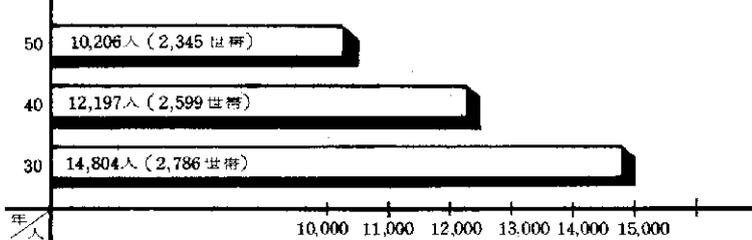
町税



32年=1世帯当り 23,063円
51年= " 88,350円

星落つ#とその手腕力量を惜しま
れたものである。
十月に町長選挙、三つともえの
中で根津正三を迎える。#公正で
計画的のある町政#がスタート。
収入役に増田孝が就任。

人口・世帯数のうごき



43年

大雪のため(二月五日、三三五
メートル)役場に雪害対策本部を
つくった。
町議会では、久しぶりに一般質
問を行った。質問要旨は、◎ほ場
整備の必要性、◎農協合併、◎へ
き地振興策など、いずれも今ある
町の礎石とされた数々である。
千手観音の旧競馬場を、月見ヶ
原公園に衣替え、県交通災害共済
の発足、郵便番号が実施されたの
がこの年である。

44年

千手簡易水道工事に着手、町道
の補修員制度を取り入れたほか、
うすれゆく民俗資料の収集、保存
にのり出した。
二十二人の新議員定数下での選
挙は、結局無投票で決定。
橋小にプールが完成、あわせて高
倉にも簡易プールが実現。
仙田地区の県立診療所が廃止さ
れ、町のへき地出張診療所が誕生
総合開発計画に、平場地区

電話の台数



35年＝11,4世帯に1台
51年＝1,2世帯に1台

一月から農業者年金がスタート、米生産調整が正式に制当てられ、各農家に配分、折からの県営ほ場整備の開始とはうらはらに、なんとなく生産意欲のわかれぬ農業情勢となった。

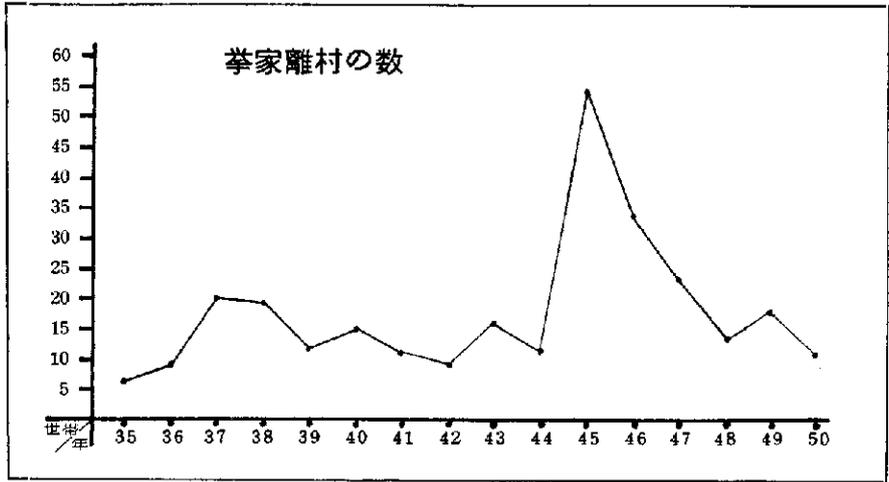
46年

十月の国勢調査では、前回より千二百二十二人の減少。
高度経済成長、米の生産調整など、拳家離村者をふやす諸要因が多くなった。
中央では、万福博、三島事件などに代表されるころ。

45年

のほ場整備事業の具体策がもられ、基盤整備や、かんばい事業の夢や不安がうわさされ出した。

うまい米、増産運動は、この春から生産調整へと一変、農家をいっそうの不安におとし入れた。
ハリマヤ工場の誘致をきっかけに、労働力調査、工業開発に力を注ぐ。



助役の田口一男、収入役の増田亨、教育長の杉本春三郎がそれぞれ退任。収入役に丸山精二郎、教育長に丸山富司が就任している。

48年

町長に根津正三が無投票で再選、同時に一名の町議補選も行う。

ねたきり老人の医療費助成がはじまり、中仙田の簡易水道、白倉小学校の校舎が完成をみたのもこのときである。

町総合開発第一次五年計画(めくり)の年。
一月から老人医療費の支給を開始した。八月には、定員二十二名に対し、二十六名立候補のし烈な町議選を執行。
県営ほ場整備もピーク、あわせて二次構の近代化施設も、順調に整えられたとき、一方では、生産調整による休耕も最高を記録した

47年

年々はけしなくなる拳家離村、過疎を少しでもやわらげようと、集落の移転、整備を進めている。

ほ場整備の進捗にあわせ、第二次農業構造改善事業の同意を進めたのがこのころ。
児童手当の新設や、五月には町体育協会の誕生、交通安全指導車の購入、野口白倉間の観光道路の開削もはじまっている。
中央では、連合赤軍の浅間山荘事件、横井一さんの帰国などが代表されている。

うしの飼育数

(乳・役肉牛)



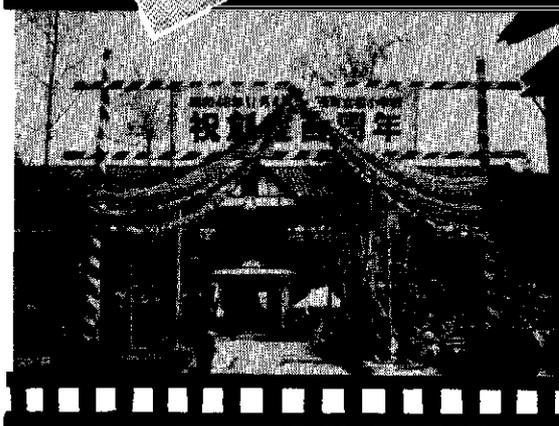
31年＝729頭
51年＝117頭

49年

上野の富井さんから消防指令車の寄贈があり、前年末から開始の分遣所業務がさらに充実。九月七日には、交通事故死ゼロの日七百日を達成、一千日に向けスタートした。

ときでもある。
秋ごろから、第四次中東戦争のあおりで石油ショック到来、節約は美德、資源見なおし論が広がる。
三年間空席の助役に数藤彦三が就任。
高度経済成長も、前年の石油ショック以来不景気、インフレへと走る。とくに自治体の台所は、総需要抑制の中で苦しい予算編成となった。

合併当時は、肉牛の飼育がさかん



48:各地で小学校の100周年が行われた。

45:拳家離村が相次ぎ、廃家がめだつた。

44:大雨で山野田川がはらん

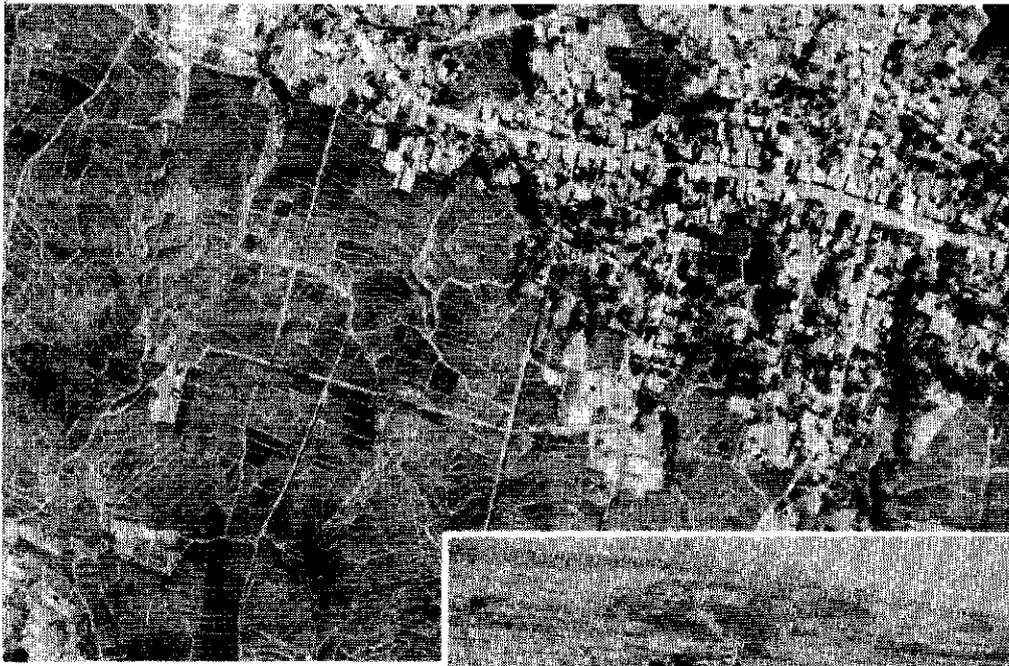
50年

町体育協会の手で元旦マラソンを実施、快い新春のスタートを切った。

旧仙田中の校舎を移築して、総合的な教育センターに着手、高校川西分校の独立をめざし、郡市内から二万六千名の署名を集めた。十月には、町長根津正三が無投

票で三選、同時に一名の町議補選も行う。国勢調査により、四十五年より七百六十九人の減少となるも、人口は減少からほぼ横ばいの傾向に入る。

年末に至り、児玉輝彦面伯から屏風(ひょうぶ)八双の寄贈あり。



千手地区の上空から、ほ場整備前(左上)、ほ場整備完了(右下)、今後は生活環境面に力がそそがれます。

51年

一月の中下旬に一週間の大雪が襲う。

最高積雪は、白倉で三・五メートル、はからずも、冬季保安要員制度の設置が大きく効を奏した。

農村総合整備モデル事業の指定町となり、過去の生産基盤の整備

に歩調をそろえ、生活環境面に力が注がれることになった。

高校川西分校が教育センターに場所を移した。

交通事故死ゼロ千五百日は、残念ながら達成できず、再び五百日に向かう。

中央では、ロッキード問題にあ

げられ、近來にない冷夏といわれ、稲作などが相当の減収も……？

20年の回想

道路整備が発展のもと

越ヶ沢 川崎保一

そのころ、長女が仙田中学を卒業しました。

二月の中旬で、最も雪の多い季節なのに、工場の入社試験があるため、いやでも十日町の安定所まで行かなければなりません。

朝食もそこそこに、峠の家を八時ごろ出発、しかし、徒歩で雪が多いため、越ヶ原に着いたのはお昼の十二時、その日は遅くなって旅館に泊りました。

その夜、十日町で三ツの歌の本番があり、宮田アナウンサーの司会で聞いた思い出が残っています。

お彼岸を過ぎても、まだ道ふみをしていた家内が、地ひびきをたてて進んでくるブルドーザーの運転手に「もう道ふみはしなくてもいいよ」といわれてニコニコ。

へき地でも、川西町が誕生して道路の除雪をしてくださるありがたさを、しみじみと味わいました。

あれから二十年、十二戸の農家は所得倍増、高度成長という時代になり、暮しのメドがたないと平場に移住しました。

三百メートルの高台にある柏崎街道も、姿を変えて節黒城跡赤谷城跡と観光道

路になりました。

中心である国道の建設も昭和四十一年仙田上野間航空写真図面化、四十四年越ヶ沢トンネルのルート決定、四十六年九月トンネル工事開始、四十九年十一月完成と順調に進みました。完成までの三年間は、測量のテコや、断がいで伐木など、身のちぢむような作業や、秋の取り入れには、スムーズな運搬ができず苦労を続けたものです

かいて、今は町の中心より仙田郷の大動脈として、山中トンネルに直接結び、バイパスの役目も果たすようになりました。

冬季間無雪化され、交通も確保されました。

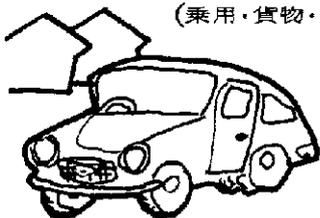
ながらこの集落に住んだ方々も、これからの仙田の発展を願っていることでしょう。

なにはともあれ、道路整備が先決だと思います。

土地改良事業も、仙田郷で始まろうとしています。国道をもとにますます繁栄することを願っています。

自動車の台数

(乗用・貨物・軽)



31年 = 66世帯に 1台
51年 = 1世帯に 1.05台

20周年

次は体育祭で 楽しみましよう

十月十日・川西中です

四年に一度の町民体育祭がやってまいりました。期日は十月十日(雨天のときは十一日)、都合六回目となるこの体育祭は、町の二十周年の年にもめぐりあわせ、今からその盛況ぶりが注目されています。

競技種目も、幼児からお年寄りまで幅広く用意し、あわせて地区対抗種目も、年齢別リレー、障害物レース、ボール送りなど多種多様。

今回の地区別の色分けは、青・千手、黄・上野、赤・橋、緑・仙田と決まりました。

応援団席は、後日決定することになっていきますので、もう少しお待ちください。

応援団費など、賞品も多数用意いたします。

秋の日の一日を町民体育祭でお楽しみください。

死亡事故ゼロ112日でストップ

再び500日に向けて

お盆の15日に、死亡事故が発生したために500日を目ざした事故死ゼロの日は、112日という短い期間でストップしてしまいました。

町では、これにめげずに、再び事故死ゼロの日500日の目標をもってスタートしています。



町内めぐりもします。国際村の人たちと……

こんな悩みや苦勞を、少しでもやわら

その心境は理解にたたくありま

でも、新潟の男性は勤勉正直

問い合わせは、農協管理課の

県外からの嫁さん

“つくし”会にどうぞ

県外から嫁がれた

嫁さんを集めて、県外からの

先集めでは、同県同町もい

大いにおほめのことば……

皆さん、町に“つくし

話をするときが、この人たちに

会には、伊友の高橋美枝さんを

おとりやお祭りは、町中あけて

いきなり見知らぬ

胸きんを開ける友人たちに愛わ

すなは、日常生活に一面の心強

か。言公庁などいっせいに休

もない、まして、習

るるとか、年齢層はまちまちでも

さらには、代表の方からこの町

に……とのことでした。

憤の遠いや他人との

のへんの人には、暗い面が多く

と、ぐちをこぼし、ふるさとの

話をしてみませんか。気持ちがさ

交わりの難しさなど

見られ、封建的な部分もぞか

るるといいます。

つばりすることです。

……もう、いいか

から、けつして悪い意味では

もあつたとか、性格的にも、こ

と、ぐちをこぼし、ふるさとの

町

内

さ

ん

ぼ



よろしく 赤い羽根

赤い羽根で福祉活動に参加しよう。

赤い羽根を通じて寄せられた皆さんの寄付金は、社会福祉の施設や、団体に配分され、それぞれ有効に利用、感謝されています。

共同募金

10月1日から

一世帯当たり二百四十円くらいの日やすとしておりま

仁田の山口利春さんから、父芳蔵さん死亡による香典返しとして二万円。

高校卒程度の学力を有するもので、昭和二十四年四月二日から、同三十四年四月一日までに

故丸山寛治さんに 従六位の追位

先に勲五等瑞宝章を受けられた故丸山寛治さん(原田)に、従六位の追位があり、お盆前に伝達しました。

警察官Bの募集

次により、明春四月採用の新潟県警察官Bを募集しています。

- 採用予定人員 約六十人
- 受付期間 九月二十五日まで
- 第一次試験 十月三日(日)
- 第二次試験 十一月下旬、予定
- 受験資格

香典返し二件

上野の星名寛雄さんから、父方雄さんの死亡による香典返しとして二万円。

それぞれ社協にいただきました。



▲ 8・15 恒例の成人式を開催 川西町の誕生と同じころうぶ声をあげた人たち148人が出席。
▼ 8・26 千手観世音堂内の大壁画、格天井の完成を祝う落慶式が児玉画伯を迎えて盛大に行われた。



語りあおう老後のくらしと健康を 老人福祉週間です！

九月十五日は敬老の日、この日から二十一日までは老人福祉週間です。
語りあおう老後のくらしと健康ををモットーに各地で様々な催が行われます。

町では446人にお祝い

町では、七十五歳以上のお年寄りには四百四十六人、うち八十歳以上の方は百九十四人を数えています。
この「敬老の日」には、長年社会に貢献された方々の敬愛と、長寿、健康のお祝も含め、記念品などを贈る予定です。
内訳としては、七十五歳以上の方全員に敬老祝金を、また八十歳以上の方全員（来年以降は八十歳の該当者のみ）に湯のみ茶わんをさらに、褒めたり老人十三人に夏物、冬物の褒めまき各二着を贈ります。一方、県からも九十歳の人三人に座布団を贈るほか、七十五歳

とくに、最近では人口の老齢化が著しく、国全体としても大きな問題となつていますが、老人福祉対策の拡充、強化はもとより、わたしたち一人ひとりが、老人問題を自分の問題として受けとめ、見つめることが大切とされています。

町の長寿番付

51・9・1

氏名	住所	年齢	氏名	住所	年齢
羽鳥伝吉	伊友	95	横綱	沢口キセン	94
丸山キト	新町	93	大関	水品モン	98
大久保トミ	野口	93	関脇	貴田モヨ	92
米山常作	室島	92	小結	小林カタ	91
丸山ミチ	木落	91	前頭	江口鶴治	90
平野徳平	四郎兼	90	2	田中サチ	90
金子富太郎	岩瀬	89	3	蔵品ムメ	89
星野イノ	野口	89	4	中条トミ	89
平野庄二	中島町	89	5	茂野トク	89
上村省司	下新	88	6	大海ラク	88
高橋トメ	田中	88	7	数藤忠吉	88
田村元吉	赤谷	88	8	星名ゲン	88
相崎由松	沖立	87	9	高橋元吉	87
中島ツチ	中島町	87	10	高橋松蔵	87
平野シン	四郎兼	87	十両	高橋マス	87
田村ミン	鶴吉	87	2	平野政直	87
田中ムメ	神社町	87	3	数藤丑三郎	86
登坂紺治	岩瀬	86	4	上村耕平	86
戸田忠太郎	仁田	86	5	登坂ヒロ	86
根津カ子	原田	86	6	高橋ミツ	86
星名正治	伊友	86	7	羽鳥ツル	86
星名オト	新条	86	8	小林吉太郎	86
山家トヤ	木落	86	9	藤田トク	86

〔社明募金に感謝・総額358,973円〕

庁内人事

▽死亡退職
診療所運転手・村山信治（六月十三日付）、上野保育園用務員・星名力雄（八月十五日付）

たかさごーご円満に

◎新郎 茂野 秀一 藤沢
◎新婦 田邊千鶴子 北海道から

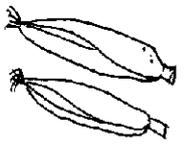
戸籍の窓から

うが声ーおすこやかに

渡貫 克典	陸夫	長男	新町新田
押木 大輔	貢	長男	元町
片桐 良春	一彌	二男	上野
大塚 大士	三郎	長男	高原田
高橋 博美	登六	長女	中仙田
小川久美子	政信	二女	赤谷
田口奈津美	勇	長女	木落
高橋 和久	廣浩	二男	神社町
金子 寛子	猛	三女	岩瀬

昇天ーごめい福を祈る

星名 力雄	上野	四七
小林リヤウ	中仙田	四九
丸山延八郎	高原田	五一
小林直義	中仙田	六〇
大久保キヨ	野口	六三
山口芳蔵	仁田	六八
羽鳥カル	木落	七三
木村マサエ	仁田	七三
平野 民蔵	東善寺	七四
高橋憲太郎	神社町	七五
金井 キク	室島	八二



太田白南風 選
三領 たかし
雷の過ぎればもとの蟬しぐれ
盆踊り嫁に来る娘も輪の中に
小白倉 江口みゆき
南瓜の葉肩垂れ猛暑続きをり
朝顔の種子を頼みて戻りけり
赤谷 登坂 酔月
うら盆も過ぎしニモス秋の色
末っ娘に送りし栗の文を待つ
小白倉 片桐 玉章
運峰は紅葉となりてダム澄めり
秋晴れの空天いなる鶯舞えり
元町 金子 鉄平
村総出神輿の道の掃かれけり
松風園 南雲 文峯
蜻蛉来て羽を休めし鳳仙花
新町 敏 子
風船を風に泳がせ諏訪祭
『俳句一口講座』(2)

*感動の心をもつこと 日常見聞したことに感動すればこれを話したり書いたりする。これが表現衝動であつてその気持を何かに表したいと思う。それが絵であり音楽であり、散文となり俳句となる。作句するには心に深い感懐を持ちそれを表わそうとする事が大切なのである。

ふきのとう会員作品

上野 清水けい子
風鈴の忘れられたる雨の日々
岩瀬 小川 薄月
灯籠に蟬迷いきて踊り更け
岩瀬 登坂 紅葉
風鈴のそよとせすに肝にあり
*ふきのとう例会九月二十四日、夜七時半、上野支所にて。